

南保発第33号
令和6年4月19日

自治会町内会 各位

南保護司会
会長 工藤 昌代
南区更生保護女性会
会長 青山 かなよ

会報「更生保護みなみ（第58号）」の広報協力について

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、かねてより両会が推進しております更生保護事業の諸般にわたり、ご支援、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、既にご承知のとおり両会が実施している主要行事や日ごろの活動状況等を広く住民の方々にご紹介し、ご理解を深めていただくため標記会報を毎年春期と秋期に定期刊行しております。

このたび第58号を作成いたしました。

ご多用の中、誠に恐縮ですが、会報を回覧数分お送りいたしますので貴町内会にてご回覧いただきたく、ご配慮をお願いいたします。

【問合せ先】

南保護司会・南区更生保護女性会
事務局 中畑
TEL：260-2510



発行 南 保 護 司 会
南区更生保護女性会
発行人 工 藤 昌 代
編集人 萩 原 香 代 子
事務局 南区社会福祉協議会内
045 - 260 - 2510
承認 南 区 第 1 号
印刷所 株 式 会 社 日 栄

地域を支える 保護司のチカラ

犯罪や非行のない、安全安心な社会の実現は、全ての人の願いであるが、その実現は容易ではない。犯罪や非行を減らすには、過ちを犯した人が同じ過ちを繰り返さないことが大切であり、彼らを排除・孤立させるのではなく、再び受け入れて、立ち直りを支えることが必要である。

保護司は、民間人としての柔軟性と地域の実情に通じているという特性を活かし、罪を犯した人を隣人として受け入れ、同じ目線に立って親身に接するという、民間のボランティアである。非常勤の国家公務員であるが、給与は支給されない。

人格及び行動については、社会的信望を有し、職務に必要な熱意や、時間的な余裕が有り、生活が安定し、健康で活動力が有る等の条件を具備する人が、法務大臣からの委嘱を受け、保護司として全国で約4万7000人が活動している。

保護司の職務は、保護観察所の観察官と協働して保護観察を行う。保護観察対象者が保護司の家もしくは面接場所（公共施設等）を訪問（来訪）、保護司が対象者の家を訪問（往訪）する。そこで、対象者の生活状況などについて話し合い、相談に応じて指導・助言を行う。

犯罪や非行をした人が刑事施設や少年院から社会に戻ってきたときスムーズに社会復帰を果たすことができるよう、釈放後の住居や就業先などの環境調整を行う。

地域の方々に立ち直り支援への理解と協力を求め、安全安心な地域づくりのための犯罪防止活動を行うことが主なる業務である。

南保護司会は会員相互の親睦・交流・研修等様々な活動を実施している。毎年7月を更生保護強化月間として行われる「社会を明るくする運動」やミニ集会を開催している。

南保護司会では48名の保護司が活動中である。

保護司にとって、保護観察対象者が無事に社会復帰した際に、喜びとやりがいを感じる。保護司に少しでも興味をお持ちの方は、是非、保護司に加わって頂きたい。



令和5年度 第Ⅱ期地域別定例研修会
「生活環境の調整」

9月12日、福祉保健活動拠点において第Ⅱ期地域別定例研修会が開催された。

「生活環境の調整」をテーマに、横浜保護観察所 小林栄子観察官を講師として21名の保護司が出席した。

矯正施設（刑務所、少年院）を出た後、再犯・再非行に至ることなく、円滑に社会復帰する上で、生活環境の調整の果たす役割はとても重要である。

再犯防止のための適切な生活環境の調整を促進するため、個々の状況を踏まえた調査・調整を行うことが必要となり、緊張感をもって事前の準備する必要がある。

帰住予定地への往訪は、犯罪や非行を起こした本人だけでなく、引受人に対しても働きかけが必要であり、保護観察とは異なる留意点も多くある。様々なケースがあり、その対応に苦慮する場面も少なくない。

過去の事例等の対応方法を知っておくことで、環境調整に取り組む心構えができる。

今回の研修会では、生活環境の調整の基本を振り返り、様々な場面を想定した質疑応答を通じ、具体的な方法について考えた。

観察官へのQ&Aで環境調整での悩みを相談し、対応の方法を聴くことができ、不安や疑問を相談できた貴重な場となった。



令和5年度 第Ⅲ期地域別定例研修会
「処遇困難事案への対応について」

2月13日、福祉保健活動拠点において第Ⅲ期地域別定例研修会が開催された。

「処遇困難事案への対応について」をテーマに、横浜保護観察所 小林栄子観察官を講師として18名の保護司が出席した。

保護司が処遇の難しい事案に直面し、その対応に苦慮したときには、対象者の問題点を把握・整理し、適切な対応が求められる。

事例研究では、処遇困難な事例二つを4グループに分かれてグループワークを行った。事例は「就労困難な少年対象者」と「金銭に問題を抱えた対象者」。

どちらも対象者に対し、保護司がどのように向き合うか悩むテーマである。各々の体験を元に、どのように対応・助言することが良いかを真剣に話し合いが行われた。

討議の後、各グループの発表が行われた。対象者がこれからどうしていきたいか傾聴する、家庭環境を理解する、対象者に役立つ支援を提案する、等の意見が出た。

各グループの発表内容がほかのグループの参考にもなり、新しい気づきを発見した。

今後の処遇に役立てることを目的として活発な討議が行われ、処遇困難事案の対応について、それぞれの体験談を交えながら情報を共有した。

グループ発表の後、小林観察官からの所感、助言をいただき、有意義な研修会となった。



令和5年度南保護司会処遇勉強会

11月18日、南保護司会の処遇勉強会が、南区福祉保健活動拠点で開催された。例年、勉強会は新人保護司の為の勉強会として行われていたが、令和5年度は着任年数にこだわらない形で行われ、16名の保護司が出席した。

勉強会は「対象者との問題や困りごと」を話し合い、また昨今若者の間に広がる「薬物」もテーマとして取り上げた。

薬物依存や耐性についての啓蒙DVDを視聴し、現在規制されている主な薬物の覚醒剤、コカイン、大麻、向精神薬、MDMA（合成麻薬）、指定薬物（危険ドラッグ等）について知識を深め、再犯度の高さを改めて認識した。また報道などで見聞きし、低年齢層が簡単に入手できてしまう大麻成分の入った食品「大麻グミ」等を取り巻く環境も話題となった。

それぞれの薬物事例の保護観察の体験を語り

合い、保護司が薬物について危機感を持って理解を深めることで、これから向き合う薬物事例対象者の更生の一助となるよう、参加者全員が真剣に考え、伝え合う貴重な情報共有の場となった。

大麻の一例



「南区小・中学校専任教諭との話し合い」

11月27日、福祉活動拠点多目的研修室において「生徒指導専任教諭・児童支援専任教諭との話し合い」が行われた。

専任教諭の自己紹介に続き、以下の4グループに分かれ話し合いが行われた。

第1グループ：共進・平楽中学校、日枝・南吉田・太田・石川・中村小学校

第2グループ：蒔田・南・国大付属中学校、南太田・蒔田・井土ヶ谷・大岡小学校

第3グループ：永田・六ッ川中学校、永田・永田台・六ッ川・六ッ川西・六ッ川台小学校

第4グループ：藤の木・南が丘中学校、藤の木・南・別所小学校

先生方から、最近の学校内の生徒の様子などを話して頂いた。

- ・コロナ禍後、以前の状態に戻り、男女一緒に遊ぶようになり、元気になってきた。
- ・不登校の生徒向けに校内ハートフルという特別教室を設定し14～15名の利用がある。
- ・スマートフォンを利用する時代になり、会ったこともない人と友達になって、犯罪を引き起こすことがある。
- ・いじめの報告件数が増えているが、些細なこ

とも報告している一面もありそれ程多いとは感じない。

保護司からは、保護司の仕事内容の説明などを行い、概要を理解して頂いた。

保護司と専任教諭が連携することにより、対象者との面接の効率化推進を図る上で、先生方との交流は必要であり、定期的な会合を持つことは、相互にとって大切な機会だと思う。

今回は、話し合いの後、食事会を開催し交流を深めた。生徒・児童や保護司の対応にご苦労されている様子を、生の声で聴くことができた。



更生保護女性会だより

令和5年度 南区更生保護女性会会員交流会

2月29日(木)
ウイリング横浜
で会員交流会が
開催されました。
青山会長より
会員の皆様に感謝の気持ちを伝えたく、5年振りの交流会が出来る事を嬉しく思いますとの挨拶の後、ご来賓の南区福祉保健センター担当部長大塚貴司様、南区社会福祉協議会会長吉井



肇様、南保護司会会長工藤昌代様より誰もが尊重される社会、お互い助け合い“南の風はあったかい”を実感できる社会作りを目指しましょう等のお言葉をいただきました。

ミニ研修では「薬物乱用防止」について南区薬物乱用防止指導員南支部長 足立博子様による、薬物は一度でも使用したら乱用と言うと、検察庁発行の資料を参考に薬物使用の恐さ、弊害、やめる事の難しさ等を教えて頂きました。

昼食を取りながら、久しぶりの懇談と景品を目指しての「ジャンケン大会」で盛り上がり、楽しく終了いたしました。



令和5年度 会員研修会

コロナ禍で3年間活動を自粛し会員の方々との交流も出来ませんでした。

毎年実施していた日帰りバス旅行でしたが、今回は横浜市内で現地集合、現地解散の設定で「横浜税関」に行きました。

横浜税関は「クイーン」(1934竣工)の愛称で親しまれるイスラム寺院風のドームで横浜市認定歴史的建造物に登録されている庁舎



クイーンのと



(本館)です。一階にある税関資料室の玄関でマスコットキャラクターのカスタム君が出迎えてくれました。

係員の方の楽しい説明を聞き、見学コースには、横浜税関の歴史や役割、ホンモノ?・ニセモノ?コーナー、ワシントン条約コーナー密輸のあの手、この手の手口など内容は興味深く勉強になりました。



マスコットキャラクター
カスタム君と

令和5年度 更生保護女性会受賞者 おめでとうございます

- 法務大臣感謝状
小嶋 光子
- 横浜市長感謝状
池田 恵美子
- 横浜市会議長感謝状
鈴木 久美子
- 横浜市更生保護女性連盟会長表彰
小野 壽子 森本 安子
寺本 甲子代 長田 由香子
金井 利律子
- 神奈川県更生保護女性連盟会長表彰
水谷 菊江 申田 邦子
- 横浜保護観察所長感謝状
小野 壽子

令和5年度 横浜市更生保護連盟研修

令和6年3月11日横浜保護観察所にて研修が行われました。

テーマは「これからの更生保護女性会と三つの支援」と題し横浜保護観察所 民間活動支援専門官 石川周治様よりお話がありました。

- ①子ども向けイベント ②他団体への支援
- ③連携と再犯防止

イベントなど記憶に残ることで更生保護活動を知ってもらい、やり直そうとしている人への応援(犯罪再発の防止)やBBSなど若い人達との連携した活動など女性会の特色をいかし活動出来たらと話され架空の事例をとうしてグループごとに人の心の考えてみるなどグループディスカッションをして研修を終わりました。



令和5年度 活動報告 (10月~3月)

- 8年 10回 定例理事会
- 10月20日 県更女連盟新人研修会 参加
- 10月26日 日帰り研修会 「横浜税関」
- 11月2日 第71回横浜市更生保護大会参加
- 11月4日 横浜市更生保護女性連盟矯正展 参加 協力
- 11月22日 第74回神奈川県更生保護大会 参加
- 9月19日 11月21日 社会貢献活動 中止
- 12月1日 南区80周年記念式典 参加
- 12月10日 県更女連盟会研修 参加
- 令和6年
- 1月5日 南区新年賀詞交換会 参加
- 2月16日~18日 参加協力
- 第2回 横浜みなとみらい盟矯正展

- 2月29日 南区更生保護女性会会員交流会
- 3月11日 横浜市更生保護女性連盟 「会員研修」 参加
- 3月23・24日 「みなみ桜まつり」 参加
- まこと寮食事作り 令和5年度 中止
- 次年度は実施予定

愛の募金

7月~8月に実施した「愛の募金」活動にご協力いただきありがとうございました。

募金額 138名 262,500円

皆様から頂いた募金は更生活動の運営と実施又、下記の諸施設に更生と社会復帰に役立てて頂くようお願いいたしました。

- (更生保護法人) 横浜力行舎
- (更生保護法人) まこと寮
- NPO法人 横浜ダルクケアセンター

編集後記

桜まつりの様子など次回お届けいたします。無事、発行できホッと一息です

令和6年度「新春の集い」

元日に起きた能登半島地震で日本中が沈痛な思いの中、被災地の方々に思いをはせながらも令和6年は始まった。

南保護司会も新しい年の始まりに気持ちも引き締め、「一年の計」を語らう場として1月30日松島旅館で「新春の集い」が行われた。南区社会福祉協議会事務局長も迎え、29名の保護司で新年の挨拶を交わし、先輩保護司と新任保護司が直接話すことができる貴重な場となった。

久しぶりのアクリル板なし、席の間隔も昨年よりも近くでの歓談で近況を語り合った。出席者全員、自己紹介を兼ねて、それぞれが今どのような問題と向き合っているかを報告し合い、表情を見ながら語り合うことでお互いの苦労を身近に感じる事ができた。

後半に行われたビンゴゲームでは、保護司有志による手作りの景品が出品され、ビンゴの数字が読み上げられる度に一喜一憂の歓声が上がり、会場が笑いに満ちた、和やかな集いとなった。

来年は憂うことのない穏やかな新年を祝うことができることを祈って、新春の集いはお開きとなった。

令和5年度 保護司会表彰者
おめでとうございます

- 法務大臣表彰
萩原 香代子 松尾 美貴子
安田 清弘
- 関東地方更生保護委員会委員長表彰
川口 裕子 永井 正己
吉川 昌代
- 関東地方保護司連盟会長表彰
坂本 直樹 末廣 芳彦 菅 英晴
鈴木 秀高 横田 豊明
- 神奈川県知事感謝状
青山 憲二 岩田 力
- 神奈川県保護司会連合会長表彰
細谷 裕一 宮本 康明
- 横浜市長感謝状
伊東 政浩 桑畑 尚子 安田 勇
- 横浜市議会議長感謝状
鳥取 芳夫
- 横浜市保護司会協議会会長表彰
宮本 康明 細谷 裕一
- 横浜保護観察所長感謝状
横浜市立南が丘中学校
横浜市立別所小学校
横浜市立南小学校



考えよう！地域の子カラ！ 第74回”社会を明るくする運動”南区推進大会

日時 令和6年7月7日（日）午後1時30分より
場所 南公会堂
内容 標語表彰
更生保護のつどい
共進中学校 南吉田小学校 日枝小学校 太田小学校

主催 社会を明るくする運動南区推進委員会